

テーマ

生物間

藪田セミナー

主催 日本農芸化学会

協賛 日本農芸化学会中部支部、日本生物工学会中部支部、
日本微生物生態学会、環境バイオテクノロジー学会、
静岡大学食品・生物産業創出拠点、静岡化学工学懇話会

コミュニケーション研究 の最前線

日時 2013年12月6日(金曜日) 13:15-16:45

場所 アクトシティ浜松コンgresセンター 43~44 会議室
(浜松市中区板屋町111-1)

参加費 無料

プログラム

13:15-

はじめに

13:20-14:00

野村 暢彦(筑波大院・生命環境)

微生物間コミュニケーションを利用したバイオフィルム制御技術の開発

14:00-14:30

二又 裕之(静岡大院・化学バイオ)

モデル微生物生態系におけるシステムの動的平衡と微生物間の相互作用

14:30-15:10

大熊 盛也(理化学研究所・JCM)

シロアリ腸内微生物群集の代謝機能と共生機構

休憩

15:20-16:00

東原 和成(東京大院・農学生命)

動物の異性間コミュニケーションに関わる分子と受容体の同定

16:00-16:40

河岸 洋和(静岡大院・農学)

キノコが引き起こす「フェアリーリング(妖精の輪)」の化学的解明とその農業への応用の可能性

16:40-

おわりに

17:30-19:30

懇親会(会費:5000円)「マイン・シュロス」(浜松市中区中央3-8-1)

問合せ先

金原 和秀

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学大学院工学研究科化学バイオ工学専攻
Tel & Fax: 053-478-1170 e-mail address: tkkimba@ipc.shizuoka.ac.jp